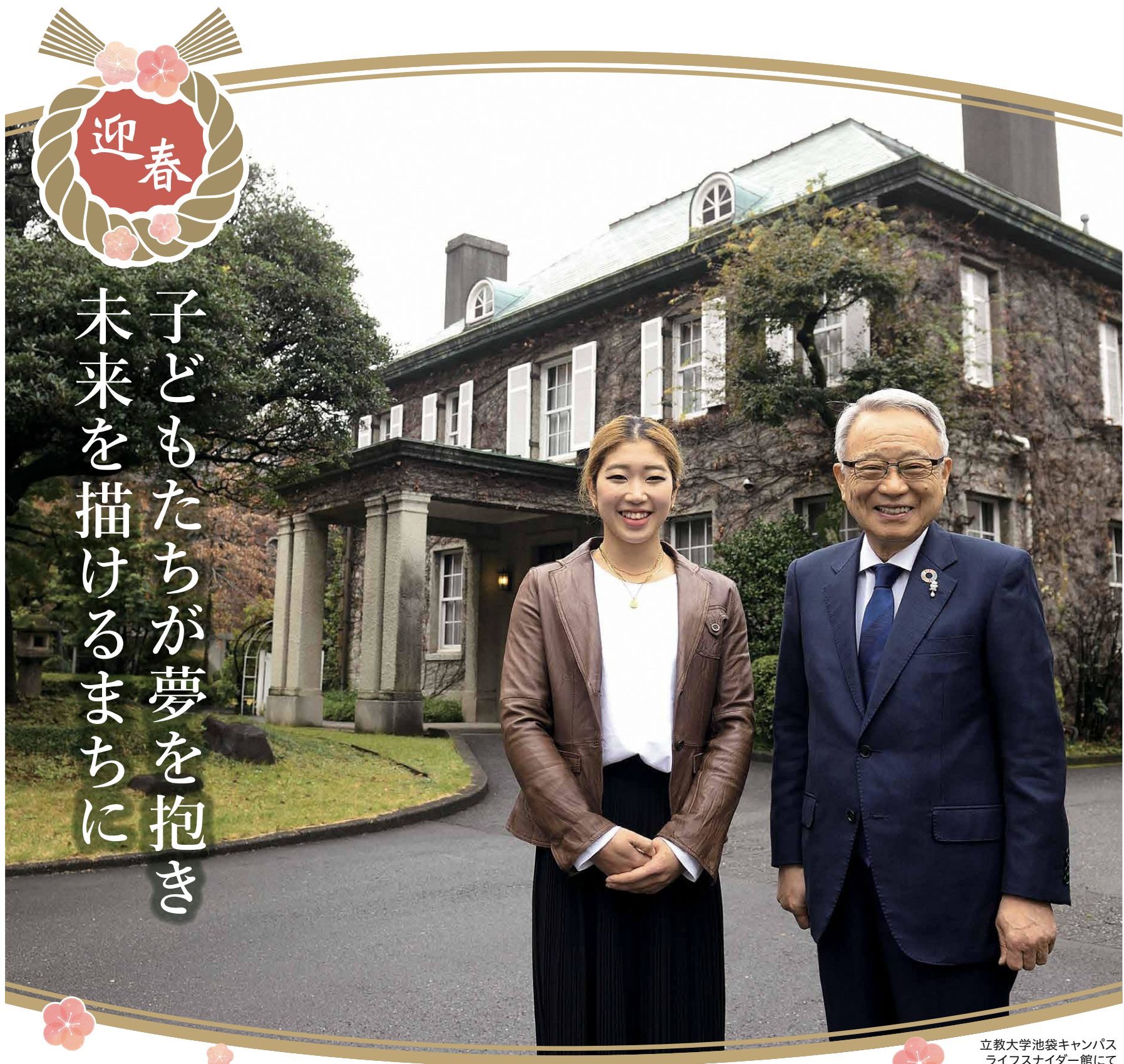




立教大学池袋キャンパス
ライフスナイダー館にて

子どもたちが夢を抱き
未来を描けるまちに

新春のお慶びを 申し上げます



豊島区議会議長
磯 一昭



豊島区長
高野之夫

戦後最大の災禍といわれる新型コロナウイルスとの戦いは続いています。感染拡大防止と経済復興とを両立させた「新たな日常」が定着しつつあります。挑戦に次ぐ挑戦となったワクチン接種も、オールとしまによる「豊島方式」で大きな成果をあげることができ、皆さんと一緒に感染拡大防止に取り組む大切さを実感した一年でした。

今年には区制施行90周年を迎え、文化によるまちづくりも集大成の時を迎えようとしています。

振り返れば、本区の歴史は常に逆境を力に変える歩みでありました。財政破綻寸前の状況から区制施行70周年を契機とした文化政策が文化庁長官表彰につながり、80周年の安全・安心なまちづくりが定着し始めた矢先に23区で唯一「消滅可能性都市」との指摘。この最大のピンチをチャンスにしようとした23のまちづくり、日本の文化の代表都市として取り組んだ東アジア文化都市事業、4つの公園を中心とした23のまちづくり記念事業などが花を開き、まちは大きく変貌しました。数々の成果が2020年の「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」のダブル選定へとつながり、迎える90周年ではSDGs未来都市と軌を一にする「国際アート・カルチャー都市」を担う子どもたちに、希望のバトンを手渡すこととなります。

数々の逆境を乗り越え、今日の成果をあげることができたのは、これまでの学びと経験を踏まえた地道な過去の努力があつてこそです。そしてこの成果を子どもたちに引き継いでいくには、今年の区制施行90周年、SDGsの目標年度である2030年、そしてその先の区制施行100周年に向けて、不断の努力を続けていかなければなりません。躍進する「としま新時代」を邁進していきましょう。

高野之夫



スポーツを楽しみ、たたえ合う心を

スポーツクライミング 野中生萌 × 豊島区長 高野之夫

2021年夏に開催された東京2020オリンピック競技大会で初めて公式競技として選ばれたスポーツクライミング。壁を登るダイナミックかつ、繊細な競技に多くの人々が魅了されました。記念すべき大会で、女子複合の銀メダルに輝いたのは豊島区出身の野中生萌さんです。国際的に活躍するアスリートである野中さんと高野之夫区長が対談しました。取り組んでいることも、世代も全く違う2人ですが、会話を通じて多くの共感が生まれていきました。

自らを信じて、ピンチを乗り越える

高野 ●野中さんは巣鴨のご出身ですね。巣鴨は信仰のまちであり、にぎわいのある地蔵通りは豊島区でも自慢の商店街です。

野中 ●家が近いこともあって、地蔵通りは大好きな場所です。中学生の頃、部活動の帰りに屋台のおじさんが「残っているから持っていきなよ！」とベビーカステラをくれました。すごく温かいまちです。

高野 ●野中さんがクライミングを始めたのはいつですか？

野中 ●8歳のときです。そこからのめり込んで、ずっと続けています。クライミングには終わりのない楽しさがあります。常に目の前に課題があり、クリアできるかわからないので、自分の限界も見えません。そして、登り切ったときの達成感が大好きです。

高野 ●けがやスランプをどうやって乗り越えてきたのですか？

野中 ●調子がよいときにけがをしたり、想像していなかった困難がたくさんありました。でも、今までやってきたことへの自信があります。積み上げてきたから大丈夫という自信です。そして、その自信を培っていくうえでサポートしてくれた方々がいます。だから諦めたくない。その強い思いがあったから困難を乗り越えられたと思います。

高野 ●とても共感します。私も池袋を変えたいという強い思いで区長を務めてきました。終戦直後、池袋に闇市があったことをご存じですか？

野中 ●知りませんでした。想像もできませんが、とても興味深いです。

高野 ●戦後、みんな貧しくて肩を寄せ合い、物々交換をしながら生きることになり、それが池袋というまちのエネルギーの源です。でも、衛生的にも治安も良くなかったから「暗い、怖い、汚い」というイメージが定着してしまいました。ここで生まれ育った私としては悔しかったですね。このまちには魅力がある。それ



を伝えたい。ピンチを乗り越えてやる、というエネルギーで区長を続けてきました。

野中 ●共通するものを感じます。私はスポーツという舞台にいますが、スランプに陥ったとき、「今は、結果が出ていないけれど、未来は大丈夫」という根拠のない自信があって、努力を続けて結果を出してきました。だから「今に見てろと笑ってやれ」という言葉を大切にしています。

高野 ●野中さんの言葉のように、私も「今に見てろ」でやってきました。

野中 ●間違いないですね！

国境と言葉を越えるスポーツやアート之力

野中 ●私は16歳から世界大会に出場し始めました。クライミングの選手はみんな仲が良く、コミュニケーションをとりながら課題に挑みます。日本も海外も変わりません。それもクライミングの魅力ですね。

高野 ●国境を越えた交流はスポーツの魅力ですね。アートも同様です。豊島区は住民の1割が外国人です。その特色を活かし、アートによって魅力を高める「国際アート・カルチャー都市」のまちづくりに取り組んでいます。私には豊島区を世界に通用するまちにしたいという野望があります。

野中 ●すごいですね。

高野 ●2019年には「東アジア文化都市」に選ばれ、中国の西安市、韓国の仁川広域市と交流しました。西安は人口が1,200万人、仁川は300万人です。豊島区は29万人。でも文化交流に規模は関係ありません。国境がなく、言葉も不要。文化は未来をつくり、平和をつくるものです。

野中 ●東京オリンピックでクライミングを観た方々から「選手同士がたたえ合っているのがすばらしかった」とうかがいました。私は幼い頃からこの世界にいたので当たり前でしたが、「たしかに！」と思いました。ジムで仲間と練習をしているときも、競い合うというより協力しあっているんですね。アドバイスをしてあげたいと自然に思います。そういう気持ちやコミュニケーションがあふれている競技です。

高野 ●本当にすばらしいことです。スポーツを通じてたたえ合い、喜びを共有する。ぜひ、その感覚は子どもたちにも持ってもらいたいですね。

夢に向かって“楽しむ気持ち”が大切

高野 ●今、子どもたちにどんなメッセージを送りたいですか？

野中 ●本当に一人ひとり違うし、同じ子はいるとは思いません。色々な目標があって、色々な思いがあります。大きい夢もあれば、ささやかな夢もある。夢や目標に全力で向かい、とにかく楽しんでほしいです。私も「クライミングが好きで楽しい」という気持ちが根本にあります。その楽しさが果てしなく続いているので、さまざまな辛さや困難も乗り越えられるし、その過程すらおもしろくなってきて、クライミングがさらに楽しくなる。楽しむ心が一番大事です。

高野 ●私もそうです。区長をやっている本当に楽しい。私には「子どもたちが誇れる豊島区にしたい」という夢があります。そう強く思ったのは2014年に「消滅可能性都市」のレッテルを貼られたときです。

野中 ●初めて知りました。消滅可能性都市とは何ですか？

高野 ●30年後に若い女性が少なくなると人口が減り、自治体として成立しなくなる可能性が高い都市のことです。東京23区では豊島区が唯一、消滅可能性都市だと指摘されました。すごい批判を浴びました。でも、そのピンチこそがチャンス。だからこそ大胆なまちづくりを進められました。今は誰も豊島区が消滅するなんて思っていません。

野中 ●逆転勝利ですね。

高野 ●野中さんの「今に見てろと笑ってやれ」で言えば、まだ笑うまで来ていませんが、「今に見てろ」の気持ちでがんばっています。

野中 ●今のお話を聞いて、あらためて、豊島区出身者としてオリンピックでメダルがとれてよかったです。豊島区がほめられる！

高野 ●本当にありがたい。イメージアップに大貢献していただいています。どうぞこれからもよろしくお願いします。

野中 ●こちらこそ、よろしくお願いします。

▶野中生萌（のなかみほう）

1997年生まれ、豊島区出身。8歳のときに父の山登りのトレーニングがきっかけでクライミングに出会う。2014年、16歳でボルダリングワールドカップに日本代表として選出。2015年、年間ワールドカップランキング3位。東京2020オリンピック競技大会・スポーツクライミング 女子複合銀メダリスト。



練習で使っていた、立教大学池袋キャンパス内にあるスピード種目専用の壁。区や立教大学と連携し、自ら寄付を集め、平成30年12月に23区で初めて設置されました。高さ15メートル、幅3メートル、斜度95度。



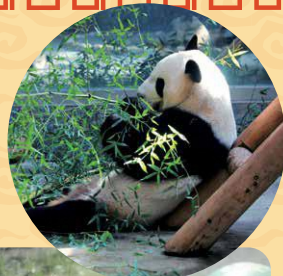
オリンピックは、タイムを競う「スピード」、課題をいくつ登れたかを競う「ボルダリング」、15メートルの壁をどこまで登れたか高さを競う「リード」の3種目の総合ポイントで順位を争います。



令和3年11月1日のとしま文化の日式典では、豊島区文化栄誉賞を受賞しました。代表者として、力強いメッセージをいただきました。



東アジア文化都市学生オンライン交流事業



3月19日(土) サンシャインシティ噴水広場

☎文化観光課観光交流グループ ☎3981-1316

西安市の学生と「動物」をテーマにサンシャインシティ大型ビジョンを使ってオンラインで交流するイベントを開催します。このほかに、中韓の文化を楽しむことができるステージ・ショーも実施します。申込み方法などの詳細は2月1日からイケサークルホームページで公開します。



日本ではなじみのない西安市のパンダがオンラインで登場予定です。

区は令和元年に「東アジア文化都市2019豊島」で中国・西安市、韓国・仁川広域市の2都市と文化を軸とした都市交流を行いました。今後も継続して交流事業を実施します。



両都市とは相互理解の促進や東アジアの文化の国際発信力強化を目的に、文化芸術・産業・観光などの分野における継続的な連携・協力を行います。



中国・西安市



韓国・仁川広域市

年始暮らしのガイド

☎総務課総務グループ ☎3981-4451 (1月3日までは区役所 ☎3981-1111へ)

施設名		年始(から)
区役所(生活福祉課、西部生活福祉課含む)、東・西区民事務所		1月4日(火)
区民集会室など	各区民集会室(休館中を除く)、帝京平成大学池袋キャンパス内集会室、駒込福祉作業所会議室、心身障害者福祉センター会議室	1月4日(火)
暮らしの関係施設	ふるさと千川館	1月2日(日)
	南池袋斎場	1月3日(月)
	としま産業振興プラザ(IKE・Biz)、区民ひろば(集会室含む)、自転車保管所、豊島清掃事務所、自転車駐車場	1月4日(火)
	男女平等推進センター	1月5日(水)
	豊島リサイクルセンター	1月8日(土)
保健・福祉・教育施設	高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)、高田介護予防センター、東池袋フレイル対策センター“いーとこ”、心身障害者福祉センター、福祉作業所、生活実習所、東・西障害支援センター、池袋保健所、長崎健康相談所、中高生センター、子どもスキップ、東・西子ども家庭支援センター、区立保育園、教育センター、豊島健康診断センター、豊島区民社会福祉協議会、豊島区シルバー人材センター、東京広域勤労者サービスセンター	1月4日(火)
	池袋本町プレーパーク	1月5日(水)
	新型コロナウイルスワクチン集団接種会場	1月7日(金)

施設名		年始(から)
文化施設	あうるすぽっと(舞台芸術交流センター)、豊島区立芸術文化劇場(東京建物 Brillia HALL)、としま区民センター、地域文化創造館(千早地域文化創造館多目的ホール含む)	1月4日(火)
	図書館、鈴木信太郎記念館、雑司が谷旧宣教師館、みらい館大明	1月5日(水)
	豊島ふくろう・みみずく資料館、熊谷守一美術館	1月8日(土)
体育施設	豊島体育館、総合体育場、西巣鴨体育場、荒川野球場、巣鴨体育館、三芳グラウンド、南長崎スポーツセンター(多目的広場を含む)、雑司が谷体育館、池袋スポーツセンター	1月4日(火)
観光・公園施設	雑司が谷案内処	1月1日(祝)
	豊島区観光情報センター、トキワ荘マンガミュージアム、トキワ荘通りお休み処、池袋の森、目白の森、目白庭園	1月4日(火)
土木事務所	公園管理事務所、道路工事事務所	1月4日(火)
まちづくりセンター	染井、上池袋第一・第二、東池袋	1月4日(火)
その他開放施設	地域活動交流センター	1月4日(火)
休館中	区民集会室(池袋第二・南長崎第四・要町第一)、郷土資料館(1月31日まで)	

年始の休日診療などのご案内

☎地域保健課管理グループ ☎3987-4203 (1月3日までは区役所 ☎3981-1111へ)

受診の際は、事前に電話してからお越しください。健康保険証を忘れずにお持ちください。

診療機関		診療日	受付時間	所在地	電話番号
内科・小児科	池袋休日診療所【当日電話予約制】	1月1日(祝)～4日(火)	午前9時～正午、午後1時～9時30分	東池袋4-42-16 池袋保健所1階	3982-0198
	長崎休日診療所【当日電話予約制】	1月1日(祝)～4日(火)	午前9時～正午、午後1時～4時30分	長崎2-27-18 3階	3959-3385
	伊藤内科小児科医院	1月1日(祝)	午前9時～午後4時30分	北大塚2-17-12 伊藤ビル2階	3918-4074
	及川醫院	1月2日(日)・3日(月)	※必ず当日事前に電話してから受診してください	巣鴨1-40-5 おいかわメディカルモール2階	3945-9270
歯科	池袋歯科休日応急診療所【電話予約制】	1月1日(祝)～4日(火)	午前9時～午後4時30分	東池袋4-42-16 池袋保健所1階 あぜりあ歯科診療所内	5985-5577
薬局	池袋あうる薬局	1月1日(祝)～4日(火)	午前9時～9時30分	東池袋4-42-16 池袋保健所1階	3984-7540

- 都立大塚病院内の「豊島文京(平日準夜間)こども救急」は、年始(1月1～4日)は実施していません。
- いずれの診療機関も事前に電話で確認後に受診してください(薬局は不要)。
- 午前中の混雑状況により、午後の診療開始時間が遅れることがあります。また、極度に込み合っている際は夜間の診療受付の時間を短縮する場合があります。
- 交通障害を伴うような悪天候の場合は診療を中止することがあります。

医療機関案内など

医療機関案内サービス「ひまわり」(東京都保健医療情報センター)

- ①日本語音声案内(24時間受付) ☎5272-0303
ホームページ <https://www.himawari.metro.tokyo.jp/>
- ②聴覚障害者の方向け専用ファクシミリ案内(24時間受付) ☎5285-8080
- ③外国語での医療情報サービス(毎日 午前9時～午後8時)
☎5285-8181(英語、中国語、ハングル、タイ語、スペイン語による案内)

東京都発熱相談センター(24時間受付)

新型コロナウイルス感染症が心配で、かかりつけ医がいらない場合や休診の場合 ☎5320-4592
(日本語、中国語、ハングル、ベトナム語、タガログ語、ネパール語、ミャンマー語、タイ語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語)

東京消防庁

- 救急相談センター(24時間受付) ☎#7119 または ☎3212-2323
- インターネットによる救急病院案内(受診可能な救急病院はホームページ参照)
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/tfd/kb/index.htm>
- 豊島消防署 ☎3985-0119 ●池袋消防署 ☎3988-0119

東京都

- 小児救急電話相談
(平日…午後6時～翌朝8時、土・日曜日、祝日、年末年始…午前8時～翌朝8時)
☎#8000 または ☎5285-8898
- 東京都こども医療ガイド <https://www.guide.metro.tokyo.lg.jp/>